

平成28年度能勢町一般会計予算可決!!

環境教育常任委員会報告

委員長 大西 則宏

3月10日、11日及び14日 本委員会に付託されました「平成28年度能勢町一般会計予算」のうち、環境創造部、教育委員会の予算内容を審議した結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。主な質疑応答は次のとおりです。

問旧学校施設について、28年度は教育財産として管理するということが、警備の状況・監視体制は。

答基本的には、施錠・バリケード等の侵入を妨げる工夫をしたい。施設内には有価物等の貴重な財産もある。分散しておくのではなく、一ヶ所に集約して保管、活用できるようにしていきたい。今後、地元との調整を進めていく。早急を実施していきたい。

問28年度は町制60周年を迎えるが、どのような事業を実施するのか。

答町制60周年に関連した浄るりシアター事業については、中身で勝負したい。コンサート2本の開催を予定し、なるほどと言ってもらえる内容で住民に満足してもらえるように進めている。

問自転車通学については、7月1日から大阪府が保険加入を義務化する。町独自、振興補助金等を含む府の財政支援を用いた助成を考えているのか。

答大阪府独自の保険制度についての情報は入っていない。大阪府の条例により市町村に指導があるということで、府の制度を十分把握しながら、制度設計を見極めたうえで考えていきたいが、振興補助金も含め助成制度については検討していない。

問町政運営方針で、観光振興については「地域資源の魅力を感じてもらうためには、町外の人には来ない。住民に観光の価値を認識してもらうことが大事である。地域の人へのアプローチがあってもいいのではないか。

答地域の方の理解、観光資源の認識がないと、観光事業は成立しにくいと思っている。努力をしていかなければならない。

問スクールバス運行事業について、安全確保のための低学年児童用ジュニアシートは設置するのか。また、バスに乗り遅れた場合の対応はどうなるのか。

答4月から備えおくということの調整はついていない。児童の成長の過程が異なるので、固定するのはなかなか難しい。運行上安心できない事象があるようであればしっかり対応することで協議している。基本的には事業者で対応してもらう。バスに乗り遅れた場合の対応については、通学対策委員会でも議論があったが、バス停には5分前には集まってもらい乗車時間以外にはバスは停まらないと伝えている。バスダイヤに影響を及ぼすので待たずに発車することを基本としている。

問ニュービジネスコンテストについて、能勢町の活性化に向けてどういう方向に進めていくのか。

答町内における新たなビジネス、事業展開をお願いしている。町全体の就労の場にも、町の活性化にもつながる。町が直接お金を出しての支援はしないが、新たなビジネスを誘導していきたい。

問新学校の通学路は能勢町観光物産センターの搬入経路でもあり、安全対策が必要である。搬入時間調整や車両スピード抑制策等、工事を伴わないもので対応できるものも多くある。町長と物産センター社長両者の立場から対応が可能であるが、具体的な取り組みはどうか。

答支配人に直接話をしている。一定検討したところであり、搬入時間、開店時間等の調整をお願いした。今までのやり方を変えることは難しいという回答であった。教育委員会からの要望も含めて、臨時の理事会で時間を変えるのは難しいという回答であったと、間接的に聞いている。児童生徒が通学する時間帯と重なるため、何かしらの注意喚起は考えられているが、それ以外は現状維持という結論が出ている。どの程度の話をして理解を得られるかわからないが、安全という部分での話はさせていただく。

続いて、農業集落排水事業特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計それぞれの予算内容を審議した結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。